

長期経営計画「2025年ビジョン」 (2016～2025年度)

2019年06月06日

株式会社 安川電機

安川グループの経営理念と2025年度で目指す姿

環境変化

先進国の少子高齢化
などの世界的な
人口構成の変化

エネルギー
消費拡大による
環境問題や気候変動

5G通信やIoTなど
急速に進化する
情報通信技術

安川グループの経営理念

「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」

1. **品質重視**の考えに立ち、常に世界に誇る技術を開発、向上させること。
2. **経営効率の向上**に努め、企業の存続と発展に必要な利益を確保すること。
3. **市場志向の精神**に従い、そのニーズにこたえとともに需要家への奉仕に徹すること。

安川グループが2025年度で目指す姿

Respect Life

100年の技術の蓄積を生かし、
生活の質向上と持続可能な
社会の実現に貢献する。

Empower Innovation

新しい技術・領域・目標に向い
人々の心に「わくわく」を
届ける。

Deliver Results

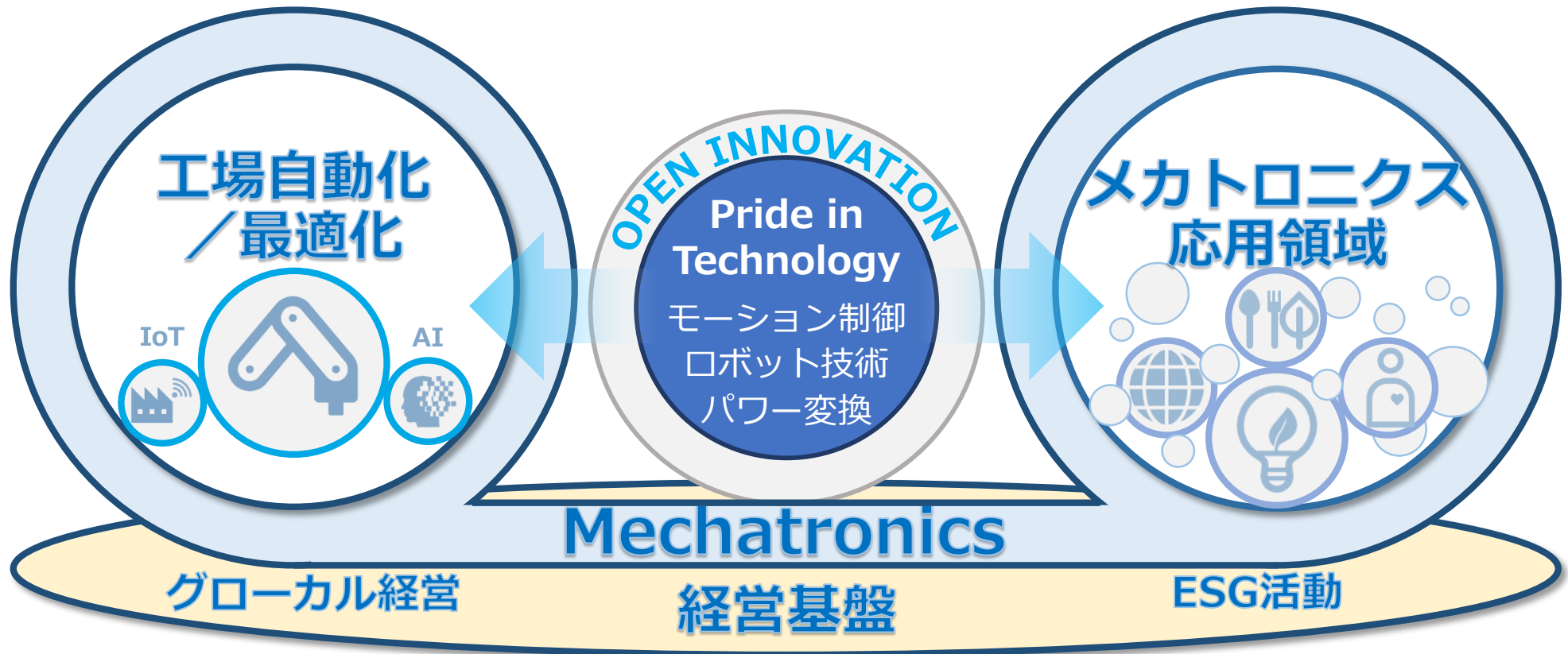
継続的な事業遂行力の向上に
より、ステークホルダーに
確実な成果を届ける。

安川グループの2025年ビジョン

コア事業の進化により、お客さまの経営課題の解決に寄与するとともに、メカトロニクス技術を応用した新規分野の拡大により、社会に新たな付加価値を生み出す

i³-Mechatronics[※]を軸とした
工場の自動化／最適化事業

社会の持続的な発展に向けた
新たなメカトロニクス応用領域



※ i³-Mechatronics: 新たな産業自動化革命の実現に対する安川のソリューションコンセプト

2025年ビジョンの主な戦略

工場自動化／最適化



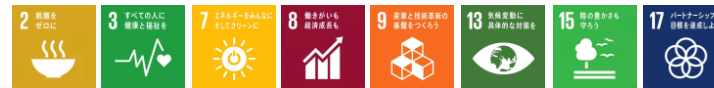
i³-Mechatronicsを軸とした産業自動化革命の実現

メカトロニクス技術とICT技術の融合により、新しい自動化ソリューションを提供する

既存コア事業で世界一を追求

産業用ロボットとモーションコントロール分野におけるグローバルシェアNo.1を追求する

メカトロニクス応用領域



新たなメカトロニクス応用領域への挑戦

メカトロニクス技術が応用できる分野を探索・実証しながら、事業化を見極める

Energy Saving

省エネ機器による電力消費量の削減

Food & Agri

食品生産・農業分野の自動化を促進

Clean Power

創・蓄・活エネ事業の確立

Humatronics

医療・福祉市場の開拓加速



2025年度の財務目標

営業利益を最重要KGIと置き、2025年度の目標達成を目指す

	2015年度実績	2025年度目標
営業利益	367億円	1,000億円以上
ROE※1 ROIC※2	12.8% 11.3%	15.0%以上 15.0%以上
配当性向	23.6%	30.0%+α

※1 ROE: Return on Equity (自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※2 ROIC: Return on Invested Capital (投下資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益/投下資本

社会の持続的成長と企業価値向上の実現

事業活動を通じた社会貢献



省エネや 環境負荷の低減



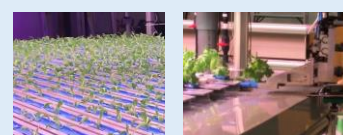
再生可能 エネルギーの普及



自動化による 3K労働からの解放



植物工場による 食の安定供給



医療・福祉分野 への貢献



グローバル経営の進化

デジタル経営

- グローバル経営情報の一元化・見える化を通じたリアルタイム経営管理の実現
- 業務プロセス標準化/自動化によるグループ全体経営の強化

品質経営

- TQM※の運用による業務品質向上と現場力強化
- プロセス重視の改善活動を通じた製品品質の向上

※TQM: Total Quality Management、組織全体として統一した品質管理目標を経営戦略へ適用したもの

ESGの取り組み加速

Environment



- 安川グループ全体でのグリーンプロセスの推進

Society



- グローバルにおける地域社会への貢献
- 安川電機みらい館やロボットセンタ等を通じた次世代の技術者育成を支援
- 未来に挑戦する多様性豊かな人材の活躍

Governance



- 経営の透明性向上とガバナンスの強化

本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

持続可能な開発目標（SDGs）

国際社会が取り組むべき社会的課題として、2015年9月に「持続可能な開発目標（SDGs）」が国連総会で採択されました。SDGsの17の開発目標のうち、当社事業が関連する目標について、価値創造を通してその達成に寄与していきます。



YASKAWA